

第四回 千曲市地域防災拠点・道の駅推進協議会 議事録

日時：令和8年1月30日（金）午後2時00分～

場所：千曲市役所 302 会議室

出席者：下寄委員（会長）、徳原委員（副会長）、タイラー委員、上水委員、安藤委員、
小沼委員、高橋委員、宮本委員、西野委員、関委員、 **10名出席**

欠席者：馬場委員、大谷委員、小笠原委員

事務局：公民共創推進室、危機管理防災課

配布資料：基本計画（案）、基本計画（案）概要版

議事

1. 開会
2. 下寄会長よりあいさつ
3. 会議事項

議事

基本計画（案）について

- ・事務局より基本計画案について説明
- ・基本計画（案）について委員からの質疑応答

○委員質問

駐車場・トイレ・情報センターなど、国交省負担分は事業費に含まれているのか？

（回答）

現時点では国との一体整備の合意がない。よって 国負担は見込まず、市事業費に含めている
今後も国と協議は継続する。

○委員質問

補助金の想定は？

交付金は事業費 17 億円に織り込まれているのか？要件に該当するのか？

（回答）

内閣府の交付金の中で活用可能なメニューを想定。

要件には該当する。（県や国とも協議中）

○委員質問

売上・収支予測の考え方について

売上＝「客数×客単価」の説明がない。観光動線が弱く、目的地化しないと厳しい。ナショナルブランド等人気テナントの導入が必要では？

（回答）

他自治体道の駅＋前面交通量を基に加重平均を出し、比例算出を行った。具体店舗・商品は未定。尖った商品・魅力次第で上振れ余地はあると考える。テナント誘致も重要と考えている。運営者のつながりではナショナルブランド等の誘致も考えられる。販売する品物で大きく数字が変わるので、現時点で可能な限り試算を行った。

○委員質問

交通量・駐車台数の根拠は？

（回答）

【交通量】

国道 18 号坂城更埴バイパス延伸時（稻荷山～塩崎）の計画交通量 最大 約 12,300 台/日。昼間交通量比率（約 79%）を掛けて 約 9,700 台。

【駐車場】

現計画：100 台

SA 等の駐車場台数根拠となる設計要領を基に算出。増設予定地を含めれば最大 200 台は駐車可能と想定。

（意見）100 台ではイベント対応が厳しいのでは。

（回答）運営内容・イベント規模により調整。予備駐車場で対応予定。

○委員質問

防災機能（備蓄・消防）

備蓄倉庫：200 m²（市内平均 50 m²）の根拠は？

（回答）人数換算ではなく「分散＋物資輸送拠点」重視。

（委員）防火水槽は耐震用か？位置は？

(回答) 耐震等の構造は今後詳細設計で調整。位置関係については決まっていらないので、設置の際は関係機関に事前相談する。

(委員) バイパス側立地は防災上有効との評価もあった。

○委員質問

施設規模の変更の根拠は？

(回答) 3.0ha は交通量・事業者ヒアリングを踏まえ「過剰」と判断。駐車場の配置を検討する中で必要台数分の確保が可能した。また、アクセス性の悪い部分を除外した。県内比較では、2.6ha 超は県内でも少数（小布施・美ヶ原のみ）。

○委員質問

民間・周辺施設との連携

(提案) JA・福祉事業所・ガソリンスタンド・EV 充電

コカ・コーラ敷地活用、防災連携が必要では？

(回答)

周辺とも連携を模索していく。

○委員質問

大型店舗が入り施設拡張はあるのか？

(回答)

モデルプランの中では施設拡張の余地はあると考えるが、（特に費用面で）運営者と相談しながら検討していく。

○委員質問

全天候型施設のイメージは？広場に屋根も検討するのか？

(回答)

全天候：体育館ほどではないが有料で、大型遊具等を屋内に設置する遊び場を考えている。

広場の屋根：運営者次第と考える。（現時点では考えていない）

○委員質問

道の駅と福祉の関わりについて

(提案) 農福連携や市内作業所との連携もできるのでは。

(回答) 農業や販売等についても福祉分野との連携を模索していく。

【最終確認事項】

基本計画案について委員了承。

4. その他

5. 公民共創推進室 小河原室長より御礼のあいさつ

- ・基本計画策定に向けて

パブリックコメントの実施、事業者説明会の実施について案内